

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	山梨県	事業実施主体	山梨県 山梨市	地域再生計画名	「森林・観光」資源を活用した山梨市地域活性化計画
計画期間	令和2年度～令和6年度	評価責任者	山梨県 治山林道課長、道路整備課長、山梨市 建設課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度			指標総数	達成数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	山梨市内観光入込客数	1,525,233人	H30	1,568,483人	R4	1,442,176人	1,633,360人	R6	×	2	1	令和2年度から4年度に新型コロナウイルス感染症の影響を受けたため中間目標値を下回っており、最終目標値まで大幅な観光入込客数の増が必要なことから目標達成が厳しい状況である。
	指標2	山梨市内の主間伐材搬出量	9,935m3	H30	13,760m3	R4	18,637m3	20,864m3	R6	○	2	1	中間目標値である13,760m3を4,877m3上回っており、中間目標値は達成している。引き続き計画に則した整備を図ることで、最終目標値である20,864m3も達成する見込みである。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度（R4）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）		390m	151m	390m	用地交渉が難航していた箇所について一部計画変更が生じているが、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
	林道整備事業（整備延長）		6,113m	3,055m	6,113m	塚本山線の開設、乾徳山線、川上牧丘線の改良等を実施し、計画に対し路線延長から見る進捗率は50%であるため、更なる整備を目指していく。							
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	森林環境保全整備事業（林道）		搬出間伐等の森林施業と一体になった林業専用道の開設を行う			林業専用道の開設を計画的に進めたことにより、林業経営の効率化の推進に寄与した。							
	森林環境保全整備事業（森林整備）		計画的に植栽や間伐等の森林施業を行う			植栽、下刈り、間伐等の森林施業を行うことにより、林業経営の健全化に寄与した。							
	おもてなし森林景観創出事業		森林景観形成・修景施業を行う			観光振興のための良好な自然環境及び景観の保全を図るため、森林景観形成・修景施業を実施した。							
	県単独林道事業（林道）		山岳観光のアクセス道等として林道を改良し、山村地域の振興を図る			林道の改良や安全施設の整備に取組み、山村地域の振興に寄与するとともに、地域住民の通行の安全も確保した。							
③評価方法	中間評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
④中間評価の公表方法	山梨県、山梨市のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備推進交付金を活用して市道整備と林道整備を一体的に行うことにより、地域間のネットワーク網を整備することで、幹線道路等の渋滞を緩和しアクセス時間短縮を図り、観光入込客数や木材搬出量の増加により地域の活性化に寄与することを目的としている。 なお、指標1の観光入込客数の増については、新型コロナウイルス感染症の影響があり、現時点で目標達成の見込みが厳しい状況にあるが引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・ 無 ） 令和6年度予算要望額への反映（有・ 無 ） 有りの場合の増減額 千円												
⑦今後の方針等に対する対応													

地域再生計画 中間評価参考資料

都道府県名	山梨県		地域再生計画の名称	「森林・観光」資源を活用した南アルプス市地域活性化計画	
施行主体	山梨県、南アルプス市		計画期間	令和2年度～令和6年度	
地域再生計画の概要	<p>南アルプス市は、北岳など白根三山を核とした観光利用が年間通じて多い地域で、平成26年の南アルプスユネスコエコパーク認定を機に観光客数は近年さらに増加している。また、同市の森林資源も充実している地域である。</p> <p>このように、観光客や木材搬出の増加が見込まれる中、幹線道路に接続する市道・林道を連携して一体的に整備することにより、ユネスコエコパークへ観光ルートを確保する。これらルートの確保は同時に林業拠点から搬出される木材の運搬ルートでもあり、林業の生産性向上が見込まれ、地域の活性化に寄与する。</p>				
地域再生を図るために 行う事業	<p>県道42号線からの市道「楡形3号線」、「楡形28号線」等の舗装事業及び「荊沢芦沢線」の改良事業を行い整備を図る。</p> <p>また、県営林道「南アルプス線」、市営林道「高室川線」等の改良事業、県営林道「楡形山支線」の舗装事業を実施する。これにより、森林施業に必要な林道網の整備を行う。</p> <p>これらにより、市道・林道と既に整備済みあるいは今後整備予定である高速道路や県道等との連携が図られ、観光地間をつなぐ安全・安心なアクセスルート網が構築される。</p> <p>加えて、運搬ルートの構築により森林施業における効率化と生産コストを抑えることで、林業・木材産業の生産活動を向上させ、林業の振興を図っていく。また、住民の利便性向上や災害時の孤立への不安の払拭も図ることにより、地域産業だけでなく地域全体の活性化に寄与する。</p>				
主な計画道路の 整備状況写真	南アルプス市道 荊沢芦沢線 (着工前) (R4末時点)		南アルプス市道 楡形3号線 (着工前) (R4末時点)		南アルプス市道 楡形22号線 (着工前) (R4末時点)
					
主な計画道路の 整備状況写真	県営林道 御庵沢小武川線 (着工前) (R4末時点)		県営林道 桃ノ木鳩打線 (着工前) (R4末時点)		県営林道 楡形山支線 (着工前) (R4末時点)
					